2006年４月26日㈬ 第1773号

The Weekly Report of SUNAGAWA RC

砂川ロータリークラブ会報

■ 本日は　5月10日㈬　第1774回　例会 ■

ゲスト卓話　　会報委員会担当

㈲ウィズよみうり　代表取締役　佐 藤 文 優 様

テーマ　「最近の新聞事情について」

※ ＲＣレート　５月１日より　１＄　１１８円

■ 次　週　の　予　定 ■

５月17日㈬ 観桜夜間例会　　親睦委員会担当
パークホテルPM6:30

５月24日㈬ ゲスト卓話　　社会奉仕委員会担当

５月31日㈬ 新入会員卓話　　プログラム委員会担当
永森会員

第1773回　例会記録　2006年(平成18年)４月26日㈬　晴れ　「それでこそロータリー」斉唱

・ゲスト・ビジター紹介　　本日はいらっしゃいません

会　長　報　告

会長　**藤田　　諄**

＊三谷果樹園様から
2006年度の申込書が届いています。(内野エレクトへ)

＊砂川観光協会から
市民交流パーティーチケットについてのお願い。

委　員　会　報　告

社会奉仕委員会　　委員長　**二宮　健志**

・「緑の募金」参加お礼
４月25日10:00～12:00、24名のメンバーが市内4ヵ所に別れて、募金活動をして頂きました。

・緑と花の祭典のメンバー協賛有難うございます。各メンバーの事業社へ直接出向いて奉賀帳を記入して頂き、金14万円を集金して、事務局へ提出しました。感謝致します。

地区ロータリー米山記念奨学委員会　　委員　**内野　　司**

第3回地区米山記念奨学委員会・カウンセラー研修会・オリエンテーション
平成18年4月23日㈰12時より、於:札幌センチュリーロイヤルホテル
参加者

地区ガバナー	塚原房樹（札幌東ＲＣ）
地区ガバナーエレクト	丸山淳士（札幌真駒内ＲＣ）
㈶米山奨学会常務理事	伊藤長英（苫小牧北ＲＣ）
地区米山奨学会委員長	竹原　巌（札幌北）
地区米山奨学会委員	５名
地区次期米山奨学会委員	３名
カウンセラー	１４名
新年度米山奨学生	１５名　　合計４１名

12:00～13:30　第3回地区米山委員会
14:00～15:30　カウンセラー研修会
15:45～17:00　オリエンテーション
17:00～19:00　夕食懇談会

砂川クラブより地区委員内野　司、次期地区委員竹田俊一会員の２名参加して参りました。私は最後のお勤めとなりました。
４年間皆様のご指導ご協力を感謝申し上げ報告と致します。

ロータリー財団委員会　　委員長　**北谷　好文**

本日、奥山俊二会員より100ドルのご寄付が有りました。ありがとうございました。

国際奉仕委員会　　委員長　**沢田　広志**

「砂川国際交流の集い」へのお知らせ
5月13日㈯に開催する「砂川国際交流の集い」への参加確認表を例会で回覧しております。
当日のネームプレートの作成、昼食、交歓会等の事前準備の都合がありますので、参加できる方は時間の都合に合わせて10時30分～12時30分の午前、12時30分～15時30分の午後、15時30分～18時の夕方の各欄へ記入をお願い致します。

例　　会

会　員　卓　話

「入院を体験して」　　**小泉　洌会員**

医者の不養生・紺屋の白袴など幾つかの諺に示されるように、昨年9月から約2カ月間、腸の癌を摘出する開腹手術、その後に併発したイレウス〔腸閉塞〕の治療のため、東京の国立がんセンター中央病院に入院して参りました。一年以上前より予兆があったのですが、他の疾患を想定して治療してみたり、場所が場所なため検査を躊躇したりしているうちに病気が進行し、結果として6時間以上の大手術を受け、更に術後の後遺症に苦しむ結果になったことを今大変悔やんでおります。

私、科学・合理性を重要視する職業に就きながら、占いにも結構はまっております。学生時代から麻雀が好きで所謂「ツキ」がどうしてついたり、つかなかったりすることがとても不思議でした。そんなことから占いに興味を持ち、今は大抵の方がご存じの細木数子による六星占術に十数年前より興味を抱くようになりました。

昭和8年3月15日生まれの私は六星占術によると「金星人」に当たり、詳しいことは省略いたしますが平成16～18の3年間は1周期12年の中で最も運勢の低下する大殺界の渦中に陥ることがわかっておりました。自分なりに気を引き締めて事に当たらなければと念じてはおりましたが、やはり次々とそれらしき出来事が起きて参りました。始めは娘の長期入院であります。遠因は本人の素質プラス親が課した勉強であったかもしれません。然しこの罹病により彼女を医師にと言う親の希望はついえてしまいました。

次のそれらしき出来事は、家内からの裁判所を通じ弁護士を立てての離婚訴訟でありました。家内〔正確には元家内〕は砂川生まれの砂川育ちで、定年退職者の父と母、3人の娘のうちの次女でした。一家5人は同時にではありませんがそれぞれ私の医院に5年以上、長い方で10年以上も勤務してもらい、適切な給料を差し上げておりました関係上、また私も若い時とは異なり比較的真面目な生活を過ごして来たと自負していたため、この訴訟はまさに寝耳に水の感がしましたが、裁判の進行とともに事情が明らかになりました。そして三つ目の出来事が私自身の病気・入院・大手術であります。癌は最近の数字によりますと、男性は実に二人に一人、女性では三人に一人が罹患していると言われており、勿論日本人の死因のトップを走っております。男性のガンでは1位肺ガン・2位胃ガン・3位に大腸・直腸ガンが上がってきております。女性のガンでは1位大腸ガン・2位胃ガン・3位肺ガンとなっており、死亡率は男女共に年々高くなってきております。対策として先ず第一は毎年欠かさずガン健診を受けること、早期に発見されると急速に進歩発展している内視鏡を利用した手術が可能となり、侵襲度が少なく早期退院に繋がると共に5年生存率も高まるとされております。ガン治療は手術のほか抗ガン剤による化学療法や放射線療法も年々進歩をしめしており、ガン患者の生存期間延長に寄与しております。現在の医療制度では長期入院が難しくなって来ており在宅での闘病生活を余儀なくされてきているが、40歳より64歳までのガン患者に対する介護保険の適用が可能となり、ガン末期の疼痛を軽減する緩和治療の普及など種々の対策がなされてきております。

私自身については術後のイレウスを防止するため相当期間経口摂取が出来ず、中心静脈経由の栄養でしのいで来たため消化機能が著しく損なわれ、普通食を摂れるようになったのは今年の2月ごろからでした。只今体力が術前の8割程度迄回復して参りましたので近々に化学療法を開始すべく検討している段階です。流動物や半流動物主体の食べ物ではなかなか体力の回復に繋がらず苦しみましたが、ドリンク剤のなかでもジャコウは少々高価ではありましたが体感として有効であり、若干バイアグラ的な効果も認められました。

（内野　司会員分　先週の続き）

３、ＲＩテーマ「率先しよう」の実践

・自分から行動しよう

・友情を深め友人を増やそう

・良きロータリー、良きロータリーアンが目標です

・失敗は成功の糧として、勇敢に行動しよう

・ロータリーアンの多様性を認め、楽しもう

・世界的視野で奉仕を考えよう世界を地球村にしたにはロータリー

・地域の小さなニーズも奉仕の対象です

４、ロータリーアン自身が広報マン

５、ロータリー家族　　ロータリー家族をまきこんで奉仕活動

その他に、会員増強についての見解を述べられました。

会員増強・退会について

・いかにして新会員を惹きつけるかについて話し合いに時間を費やすのは賢明ではない

・その時間があれば、クラブの充実に費やした方が遥かに効果的。

・適切に機能していれば、現会員を維持し、新会員を惹きつける。

新会員の退会の原因

・リーダーシップの弱さ　クラブの管理運営を効果的に。

・費用の問題　会費に十分見合う価値を提供。

・奉仕の機会が与えられない。

意欲を喚起するような有益で実り多い種々のプロジェクトを、地元地域だけだなく海外のクラブと共同して実施する。

又、全ての人々を向かえ入れるクラブにする様、女性会員の必要性があります。インターアクトローターアクト・青少年交換事業を強化させることが会員増強につながる。

率先が仕事

１、親睦活動　月１回の親睦例会（フェローシップ例会）

２、地元・世界への奉仕活動

３、専門職人と連絡・協力網をつくる

４、仲間・地域社会から認められる事が必要

米山記念奨学会への寄付について、普通寄付1人年4000円特別寄付1人1月1000円を目指し合計、年1人当たり16000円をお願いしたいと提言。

11:55　昼食

２００６年　地区ロータリー財団セミナー

１３：００～１５：１０

参加者　内野　司会長エレクト　木村　正勝次年度ＲＩ財団委員長

１、地区財団セミナーにあたり　ガバナーエレクト　丸山淳士

２、ロータリー財団の現況について

次期地区ロータリー財団委員長　遠藤正之（ＰＳ）

３、国際親善奨学金について

次期地区国際親善奨学金委員長　瀧川哲夫

４、ＧＳＥプログラムについて

次期地区ＧＳＥ委員長　岡崎芳明

５、補助金について　次期地区補助金委員長　朝倉正人

６、財団学友会について　　次期地区財団学友委員長　桃井康夫

以上の、説明があり、質疑応答の時間があり。終わりに丸山ガバナーエレクトより御挨拶頂き終了。

２００６年　地区米山セミナー

１５：３０～１７：１５

参加者　内野　司会長エレクト　竹田　俊一次年度米山記念奨学会委員長

１、地区米山セミナーにあたり　ガバナーエレクト　丸山淳士

２、米山記念奨学会の現況

（財）ロータリー米山記念奨学会常務理事（PG）　伊藤長英

３、米山記念奨学会寄付について

地区米山記念奨学委員長　竹原　巌

4、次年度の米山について　次期地区米山記念奨学委員長　大石春雄

５、米山学友会について　次期地区米山学友委員長　米谷龍三

以上の、説明があり、質疑応答の時間があり。終わりに米山奨学生のお話として、ディッキームダキュル君（インドネシア　北海道大学薬学研究科博士課程2年）が上手な日本語で日本に来て大変苦労した事と米山記念奨学金を頂けることになってから、素晴らしい勉強・研究ができるようになった説明、本当に有難くロータリーの皆様に感謝いたしますの中で感極まり、なみだの報告になりました。このお話が今日の最高との評価を受けました。

17：20　閉会・点鐘　ガバナー　塚原房樹

この後、懇親会が開催され第1日目を終了致しました。（竹田次年度米山委員長と2人で参加）

第2日目

09：30　開会一点鐘　ガバナー　塚原房樹

ロータリーソング「奉仕の理想」

ホストRC会長挨拶　札幌真駒内RC会長　佐藤泰彦

ご挨拶　ガバナー・エレクト　丸山淳士

09：45　地区リーダー講演　地区研修リーダー　伊藤長英

次期地区研修リーダー　遠藤正之

地区リーダーシップ・プラン（DLP）についての説明

クラブ・リーダーシップ・プラン（CLP）についての説明

ガバナー補佐システムおよび極少会員クラブへの対応が主な内容。

10:35　グループ別討論会（５テーマで５グループが討論）

Aグループ　クラブ管理運営について

Bグループ　奉仕プロジェクトについて

Cグループ　会員増強について（このグループに参加・討論）

砂川RC　地元の人口減少・若い経営人減少等増強には苦労している又、女性会員もいない状況で、最大７２名いた会員現在は５３名、クラブの特徴をアピールして増強をおこないたい。

札幌RC　160名～110名～140名と会員の変化があるが無理な増強はしない、充実した例会、クラブ運営により増強。最近は本州企業の支店長クラスの入会がある。

札幌西RC　札幌医大関係会員が多く、時間が無いとの理由で退会が多い。

札幌幌南RC　親睦主体の気楽に入れるクラブ、同好会が多くその付き合いで入会がある。

銭函RC　現在25名地元が多い、充実した例会で増強を。女性会員3名。

恵庭RC　JC関係の入会が難しい。ライオンズクラブが強い、基本から努力する。

三石RC　過疎が悩み、例会に出席しない会員は退会させる、真の会員を入会させる。

室蘭RC　会員減少、地域にあったロータリーをその特徴を見直し会員増強。

函館RC　会員93名、3割強がパスト会長、30名が転勤族、女性会員の増強を目指す。

函館セントラルRC　30名で創立、会員の質の向上が目的です。

上磯RC　現在22名（最大45名）マンネリ化により会員減少、銀行・NTTの会員減少。

苫小牧東　34名で創立現在29名、市民を巻き込んだイベント等で増強を目指す。

Ｄグループ　ロータリー財団について

Ｅグループ　クラブ広報について

11:40　グループ別討論会の報告

12:20　ＰＥＴＳ所感　ガバナーエレクト　丸山淳士

12:30　講評　ガバナー　塚原房樹

閉会宣言　ホストＲＣ・ＰＥＴＳ実行委員長　吉村洋吉

12:40　閉会一点鐘　ガバナー　塚原房樹

出　席　報　告　　委員　**榊原二三夫**

※在　籍　数　52名　※出席規定免除　２名

※本日出席基数　50名　※本日欠席者数　６名

※本日出席率　90.00％

※本日欠席者　水島孝嗣会員、沢田幸三会員

小原幸二会員、増井利雄会員、二橋邦征会員、大山知行会員

※メイクアップ

高橋俊美会員、武田昭二会員、畠山　豊会員、増井利雄会員

前々回の欠席者６名の内４名の方がメイクアップされましたので前々回の出席率88.00％を96.00％に修正致します

ニコニコボックス

※会員卓話をさせて頂いて　小泉　洌会員

※会員誕生・創業記念・結婚記念祝を頂いて　奥山俊二会員

本日のニコニコＢＯＸ　5,000円　累計額　1,316,000円

☆は超高額、◎は高額、○は多額

※米山記念奨学会:本日	円	累計	470,000円
※ロータリー財団:本日	100＄	累計	4,500＄

本号担当：山本　洋　次号担当：吉川富雄

事務局:砂川パークホテル内　(TEL0125-52-3989)

会長　藤田　諄　幹事　堀江和美

欠席届は前日昼迄に西川博久SAAまで(TEL54-2208・FAX54-2028))